

水リスクと企業



グローバルウォータージャパン代表
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就

▶10

日本の約22倍の851万平方キロである。年平均降水量は1782ミリで、世界最大の水資源量(年間82333立方キロ)を有しているが、水インフラが未整備であり、水資源利用率は0.7%と世界最

日本の貢献

日本が移民政策を始め13万人がブラジルに移住

ブラジルの水事情

北米では記録的な寒波が続いているが、南半球のブラジルでは記録的な猛暑が続いている。この

ため水不足が深刻で、ブラジルの最大都市サンパウロ市の主要貯水池の水位は、例年の4分の1以下となっている。仮にこれから雨が降らなければ水源が45日以内に枯渇すると指摘されている(サンパウロ新聞)。サンパウロ市周辺の8都市は水道水の給水制限を始めた。世界でもトップクラスの水資源量を有するブラジル。今年にはサッカーのワールドカップが開かれ、さらに2016年にはオリンピックが開催さ

国家を脅かす水資源枯渇 温暖化や森林伐採が影響

れる同国だが、水資源が国家の運命を左右する事態となっている。

水資源量と水インフラ

ブラジルの国土面積は

低クラスである。上下水道の普及率はサンパウロ市の都市部では下水道が96%、下水道が74%(ただし汚水処理率は47%)と高いが、全国平均ではこれからの整備が求められる

の改善に取り組んでいるが、広大な国土、経済成長の鈍化、陽気な国民性もあり遅々として進んでいないのが現状だ。

大規模停電が頻発

それは水資源の枯渇問題と水インフラの未整備である。同国は総発電量の87%を水力発電に頼っ

水資源の枯渇問題

枯渇の原因は地球温暖化の影響、アマゾン地区の大規模な森林伐採(過去40年間で森林面積の20%が消失)、地下水の過剰取水などが挙げられているが、それらの複合災害とも言われている。また水インフラの整備も進んでいない。オリンピックは大丈夫だろうか。いずれにしても水資源の枯渇が国家の根幹を脅かす一つの例である。